



# 郷小だより

茅ヶ崎市立浜之郷小学校

2025年4月7日

4月号

校長 安倍 武雄

## 学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

菜種梅雨と寒の戻りが続きましたが、やっと春らしい日が続くようになりました。おかげで、正門前の桜も散り際ながら皆さんの進級と、新入学をお祝いしてくれているようです。一つずつ学年が上がった2年生から6年生のみなさん。進級おめでとうございます。また、新たに浜之郷小学校に入学した1年生のみなさん。ご入学本当におめでとうございます。みなさんが学校にそろそろのを今か今かと待ち遠しく思っていました。

今年度も浜之郷小学校の校長を昨年に引き続き務めさせていただく安倍武雄と申します。今年度も学校にかかわる全ての方の声に耳を傾けながら学校経営を行って参りたいと考えております。校長とのお話会も継続します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本校は今年度、新たに97名の1年生を迎え、1～6年すべて3クラス18学級、郷の子教室（支援級）5学級、総勢546名でのスタートとなります。教職員は、新たに8名が着任しました。教職員59名が一丸となり子どもたちを支えてまいります。学習活動を進める中で、子どもたち一人一人が自分の居場所を感じることができ、学びがいのある学校づくりに努めてまいります。

さて、学校だよりの冒頭に学校教育目標を紹介させていただきました。人はそれぞれものの感じ方や考え方も違えば、得意不得意も違います。一人一人が違って当たり前ということをお前提に、それでも誰もが大切な一人の人間であることには変わりがないということをお互いに認めあうことから全てをスタートさせたいと思うのです。友達も、先生も、保護者も全ての浜之郷小学校にかかわる人が互いに認めあう中で「支えあう・聴きあう・学びあう」(＝互いの弱みや強みを生かし、対話を通して互いの思いをうけとめ、自分なりの納得がある学びを日常化する)学校を目指し、子どもたち一人一人の笑顔が輝くよう教職員一同、力を尽くしてまいります。

子どもたち一人一人の豊かな成長のためには、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力が欠かせません。学校からの情報発信も可能な限り行ってまいります。ぜひ、子どもを真ん中にして、学校、保護者、地域が一丸となり子どもたちの成長を支えていくことに、どうか力を貸してください。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。